

機能安全を用いた機械等の取扱規制のあり方に関する検討会

開催要綱

1 趣旨

近年、国際規格においては、全使用期間における事故のリスクを許容可能な水準まで抑制するため、電気・電子制御などの機能により安全を確保する機能安全という方策が採用されている。機能安全の性能は、確率的な尺度である安全度水準で評価される。

欧州では、ボイラー等の一定の危険性を有する機械等で使用される電気・電子制御機器について、必要な安全度水準を満たすことが求められるとともに、安全度水準を満たす機器を使用することを前提に、機械等の取扱いに関する規制を見直す動きがある。

本検討会では、一定の危険性を有する産業用の機械等に関して、機能安全の安全度水準に応じた機械等の取扱いに関する規制のあり方について検討する。

2 検討項目

- (1) 機械等のリスクに応じた機能安全の安全度水準の設定のあり方
- (2) 機能安全の安全度水準を満たす機械等の取扱いに関する規制のあり方
- (3) 機能安全の安全度水準の第三者認証のあり方
- (4) その他

3 構成

- (1) 本検討会は、厚生労働省労働基準局安全衛生部長が、別紙の参集者の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には座長を置き、座長は検討会の議事を整理する。
- (3) 本検討会の参集者は、必要に応じ追加することができる。
- (4) 本検討会は、参集者以外の者に出席を求めることができる。

4 その他

- (1) 本検討会は、原則として公開する。ただし、個人情報、企業秘密情報を取り扱うなどの場合においては非公開とすることができる。
- (2) 本検討会の事務は、厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課において行う。

参集者名簿（五十音順）

池田 博康	(独) 労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ 統括研究員
石田 豊	(一社) 安全・環境マネジメント協会 会長
梅崎 重夫	(独) 労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ 部長
杉田 吉広	テュフラインランド ジャパン株式会社 産業サービス部 部長
須藤 浩人	(一社) 日本ボイラ協会 技術普及部 次長
平尾 裕司	長岡技術科学大学 システム安全専攻 教授
福田 隆文	長岡技術科学大学 システム安全専攻 教授
向殿 政男	明治大学 名誉教授

オブザーバー

堀 宏行	経済産業省 商務情報政策局 商務流通保安グループ 電力安全課 課長補佐(火力担当)
------	--